

【家庭数】

横浜市立永谷小学校

令和6年7月18日



学校だより
ながや

「ほんとほんと ありがとね。なみだが
でそうな くらい うれしかったよ。」

校長 神田 敏之

1年生で「ほめほめだいさくせん～ほめほめかあどを こうかんして れべるあっぷ！～」という活動をしました。相手のよさを見つける、自分のよさに気付くことがねらいです。

まず、同じグループの子どもにカードを書きます。友達の素敵なところ、がんばっているところなどを具体的に書きます。カードにはどんな場面で見つけるかということで、授業、給食、掃除、休み時間と示してあり○で囲むようになっていきます。他の友達にも書きたいということで、さらに何枚も書いた子どももいました。カードには次のようなことが書かれていました。

「(授業)じゅぎょうが はじまるときに
みんなに こえを かけてくれます。」

「(授業)きりかえすいっちは いちばん
はやかったよ。」

「(休み時間)めちゃくちゃげんきだったので
すごいと おもったよ。」

「(休み時間)いっしょに おりがみで
あそんでくれて ありがとう。」

「(掃除)そうじを がんばってたよ♡」

もらったカードを台紙にはり、それを改めて読んで、ふりかえりをします。「ほめほめかあどを もらった いまの きもち」という吹き出しに書かれた言葉が冒頭の言葉です。多くの子どもがうれしい、ありが

子どもたちの様子についてホームページを活用してお知らせします。月1回程度を予定していますので、「学校日記」等のページをご覧ください。

学校ホームページ

QRコード



とう、気持ちがよいなどと表現していました。

掃除を頑張っていることなどを複数の子どもからもらっている子どもがいます。同じ内容のカードをもらうと、頑張っているということをさらに認められることでしょう。休み時間が終わって授業の準備をしていることに対して、切り替えスイッチができているとカードをもらった子どもがいます。自分では当たり前に行っていることでも友達が見ていてくれることがわかり、次も頑張ろうという気持ちがもてたことでしょう。他にも、今まで気付かなかった自分のよさにふれることができた子どももいることでしょう。

このような互いのよさを認め合う活動はどの学年でも行っています。そのときには、具体的な行動を通して伝える、もらった相手がうれしくなるような言葉で書いてあるかを確認するということが大切です。

私たち大人も子どもの頑張ったことを認める場面があります。おだてて何かをやらせるということではなく、また皮肉に聞こえないように言葉かけをすることが大切です。よさを見つけたその場で、具体的な言葉かけをお願いします。言葉がうまく見つからない時には、「洗い物を手伝ってくれたから助かったよ」というように自分がどう感じたかという言葉も使えます。

前向きな認め合いの言葉があふれる夏休みの生活にさせていただくと、子どもの言葉も豊かになりおだやかになっていきます。

【家庭数】

横浜市立永谷小学校

令和6年7月18日



学校だより
ながや

子どもたちの様子について
ホームページを活用してお
知らせします。月1回程度
を予定していますので、
「学校日記」等のページを
ご覧ください。

学校ホームページ

QRコード

